

# いしかわ気候変動適応センター通信 第15号

## 令和6年のいしかわの気候を振り返る

令和6年は例年に比べ、かなり気温が高い時期が長く、暑い1年でした。

### 【冬（1月、2月）の特徴】

#### ○平均気温 平年と比べかなり高く

金沢と輪島で平均気温が高く、降雪量は少なかったものの、降水量は多くなりました。

＜金沢＞1月平均気温：5.4℃（平年差+1.4℃）、2月平均気温：6.2℃（平年差+2.0℃）

＜輪島＞1月平均気温：4.5℃（平年差+1.2℃）、2月平均気温：5.4℃（平年差+2.0℃）

（参考：「石川県の気象概況」（気象庁ホームページより））

### 【春（3月～5月）の特徴】

#### ○5月には全国的に真夏日に 加賀中津原で最高気温が全国トップの日も

5月5日に、真夏日（最高気温30℃以上）となった地点は100を超え、過去10年で最も早く真夏日が100地点以上となりました。この日は加賀中津原では気温が33.8℃まで上昇し、この日の最高気温で全国トップになりました。

（参考：tenki.jp（<https://tenki.jp/forecaster/desktop/2024/05/05/28635.html>））

#### ○クーリングシェルター 始まる

熱中症特別警戒アラートの発表時に住民が暑熱から避難できるよう、冷房設備のある施設を「クーリングシェルター」として市町長が指定する制度が始まり、県内では254施設が指定されました（令和7年3月現在）。

※熱中症特別警戒アラート…広域的に過去に例のない危険な暑さとなり、人の健康に係る重大な被害が生じる危険性がある場合に環境省が発表



### 【夏（6月～8月）の特徴】

#### ○夏日が過去最多を記録 夏が長くなっている？

夏日（日最高気温25℃以上）が、金沢では142日、輪島では127日あり、いずれも過去最多となりました。気象庁は、6月～8月の3か月を夏の天候としていますが、金沢で夏日を記録した月は、4月～11月までの8か月もありました。

### 【秋（9月～11月）の特徴】

#### ○紅葉のない秋

金沢でかえでの紅葉日を観測したのは12月3日で、平年より9日遅くなりました。

紅葉は、秋の気温の低下に伴い葉の色付きが進んでいきますが、秋になっても気温が高かったため、紅葉が遅れたと考えられます。

### 《まとめ》

気候変動によって、観測記録を更新するような異常気象が頻発し、私たちの生活に様々な悪影響をもたらすようになってきました。このまま気候変動が進行すると、日本の季節も、春夏秋冬の四季から、夏冬の“二季”になってしまうかもしれません。

気候変動の進行を止めるには、その原因となる温室効果ガスを減らす「緩和」が最も重要な対策ですが、すでに生じている気候変動の悪影響に対応する「適応」にも取り組むことが重要です。今、私たちにできる「緩和策」と「適応策」を考えて、実践していきましょう！

＜緩和策の例＞省エネ家電の使用、再生可能エネルギーの使用、宅配便の再配達防止

＜適応策の例＞熱中症予防のため適切に冷房を使用、ハザードマップを見て避難場所等を確認

### ＜石川県気候変動適応センター＞

事務局：石川県生活環境部カーボンニュートラル推進課

電話：076-225-1469 FAX：076-225-1479 メール：cn2@pref.ishikawa.lg.jp

HP：https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/tekiou/index.html